

< 静岡市の現状 >

〔図1 静岡市の人口の推移と将来推計人口〕



〔出典〕各年国勢調査(総務省)、日本の地域別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)

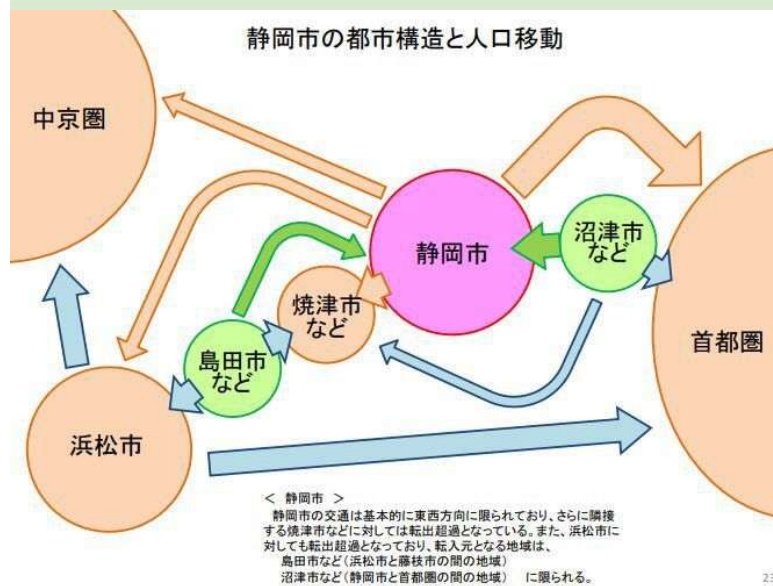
<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s007372.html>

- ・ 2020年は初めて70万人を下回っていて、政令指定都市中20位にまで落ち込んだ。
- ・ 2020年からは推計人口が2万人ずつ減っている。約15年後の2040年の人口は60万人を下回ると予想されている。



このままだと高齢者中心の社会になってしまう。

- ・ 静岡市を発展させていくためには、若者がもっと必要。
- ・ 少子高齢化が進むと地域、社会の担い手の減少、経済成長率の低下などが起こってしまう。
- ・ 人口減少、少子高齢化が進むと経済の収縮や都市活力の低下を引き起こす



静岡市から浜松市、首都圏、中京圏に人口が移動している。島田市や沼津市からは静岡市に移動してきている。浜松市、首都圏、中京圏など発展した場所からもっと静岡市に移動してくれたら、静岡市の明るい未来に近づけると思う。

<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s007372.html>

〔図5 財政指標の推移〕



<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s007372.html>

＜対策＞

ふるさと納税を利用し

- ふるさと納税限定の**プラモデル**を返礼品に
（今川、武田、徳川など、、、）
- **さわやかハンバーグ**を**冷凍食品**にし返礼品に
（げんこつハンバーグなど、、、）

対策Ⅰ～プラモデル編～

このプラモデルはふるさと納税とコラボして**限定**のプラモデルにすることでふるさと納税の**寄付金**が集まる

過去には**成功**例も、
日光東照宮（栃木）で徳川家康の数量限定のプラモデルが一時間で5500個も！！

効果①～プラモデル編～

レタスクラブより

<https://images.app.goo.gl/JrKCtsEU3i2Q5dxf7>

全国にあるプラモデル工場(37事業所)

全国出荷額は
241億7100万円

そのうち静岡県の出荷
額は222億5800万円



効果②～プラモデル編

プラモデルって高いんです。

興味のある人から需要の高いプラモデルをコラボで販売することで寄付金への期待ができる



[バンダイ] 仮面ライダーガヴ DX 変身ベルトガヴ コンプリートセット 【日本おもちゃ大賞2024キ

¥15,000 ¥18,500

Amazon公式サイト

5件以上のショップの価格を比較

Amazon公式サイトより

対策Ⅱ～さわやかハンバーグ編～

静岡が誇るさわやかなハンバーグを返礼品にすれば繰り返して寄付してくれる方が増える、

ふるさと納税の返礼品には海鮮類や牛肉が多い、そこでハンバーグという新しい食べ物を増やす



他県の人でもさわやかなハンバーグを求めている！！

他県からの需要がある中でふるさと納税**限定**で冷凍のハンバーグのセットを販売すると、、、

興味を持った人が静岡に寄付してくれる

<費用>

日光東照宮のプラモデルは（徳川家康） 1つ7700円販売価格

プラスチックモデルの制作は200万円から

さわやかのハンバーグは1つで（250グラム） 1760円販売価格

ハンバーグの原価は300円ぐらい

「日光の社寺」世界遺産登録25周年を記念し、日光東照宮に“ ...

PR TIMES<https://prtimes.jp> 商品サービス

げんこつハンバーグの炭焼きレストランさわやか

genkotsu-hb.com

<https://www.genkotsu-hb.com>



<まとめ>

ふるさと納税を行い地方税が増える
と静岡市らしい財政ができる！！

令和7年9月定例会 加藤博男議員 総括質問資料②

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

同時発表：環境省

出典：国土交通省HPより

令和7年6月6日

海事局船舶産業課

令和7年度「ゼロエミッション船等の建造促進事業」の公募開始

国土交通省は、環境省との連携の下、ゼロエミッション船等の建造に必要な生産設備等の整備を支援することにより、これら船舶の国内供給体制を世界に先駆けて構築し、市場導入促進によるCO2の排出削減を進めるとともに産業競争力強化・経済成長を図るため、「ゼロエミッション船等の建造促進事業」の公募を開始します。

1. 事業概要

(1) 補助対象事業者

民間企業等（公募要領等で定める条件を満たす者）

(2) 事業内容

水素、アンモニア、LNG、メタノール及び電力（バッテリー）を推進エネルギー源とするゼロエミッション船等の建造において、必要となるエンジン、燃料タンク、燃料供給システム等（以下、「関連船用機器等」という。）の生産設備（ただし、エンジンの生産設備については、水素又はアンモニア燃料エンジンの生産に用いるものに限る。）の整備事業及びこれらの関連船用機器等を船舶に搭載（艀装）するための設備等（艀装プラットフォーム等）の整備を支援します。

(3) 補助率

大企業：1／3以内

中小企業等：1／2以内

(4) 令和7年度から11年度までの予算額

300億円（初年度：24億円）

※ 事業概要については別添資料もご参照ください。

2. 応募方法

ゼロエミッション船等の建造促進事業事務局 (<https://pczes.jstra.jp/>) に掲載される公募要領等をご覧いただき、申請様式に必要な事項をご記入の上、必要書類を添えてゼロエミッション船等の建造促進事業事務局へご提出下さい。

3. 公募受付期間

令和7年6月6日（金）～7月22日（火）正午まで（必着）

4. 問い合わせ先

ゼロエミッション船等の建造促進事業事務局

Email : info@pczes.jstra.jp

TEL : 03-5114-8942

※ 問合せにつきましては、可能な限り電子メールでお願いいたします。

※ 電話受付時間 09:00～12:00、13:00～16:30（土日祝日は除く。）



【問い合わせ先】

海事局船舶産業課 大西、小池

代表 : 03-5253-8111（内線 43627、 43626）

直通 : 03-5253-8634（直通）

ゼロエミッション船等の建造促進事業（国土交通省連携事業）



【令和7年度予算（案） 10,200百万円（9,400百万円）】

※5年間で総額30,000百万円の国庫債務負担

ゼロエミッション船等の建造に必要な生産設備の整備を支援し、その普及を促進します。

1. 事業目的

- 我が国の運輸部門からのCO2排出量のうち、船舶は自動車に次いで大きな割合(5.5%)を占め、2050年のカーボンニュートラル実現に向けては、水素・アンモニア燃料等を使用するゼロエミッション船等の普及が必要不可欠。ゼロエミッション船等の供給基盤構築を行うことにより、それらの船舶の市場導入の促進によるCO2の排出削減を進めるとともに、我が国船舶産業の国際競争力強化を図る。
- 本事業ではゼロエミッション船等の建造に必要なエンジン、燃料タンク、燃料供給システム等の生産基盤の構築・増強及びそれらの設備を搭載（艤装）するための設備整備のための投資等を支援し、ゼロエミッション船等の供給体制の整備を図る。

2. 事業内容

今後、新燃料船への代替建造が急速に進むと見込まれることを踏まえ、ゼロエミッション船等の供給基盤確保を推進するため、以下の補助を行う。

- ゼロエミッション船等の建造に必要なエンジン、燃料タンク、燃料供給システム等の生産設備の整備・増強
- 上記船用機器等を船舶に搭載（艤装）するための設備等の整備・増強

本事業を通じ、海運分野における脱炭素化促進に資するとともに、ゼロエミッション船等の建造需要を取り込むことにより、我が国船舶産業の国際競争力強化を図る。

3. 事業スキーム

- 事業形態 間接補助事業（補助率：1/2、1/3）
- 補助対象 民間事業者・団体
- 実施期間 令和6年度～

4. 事業イメージ

船用事業者に対しゼロエミッション船等の重要船用機器の生産設備の導入を支援



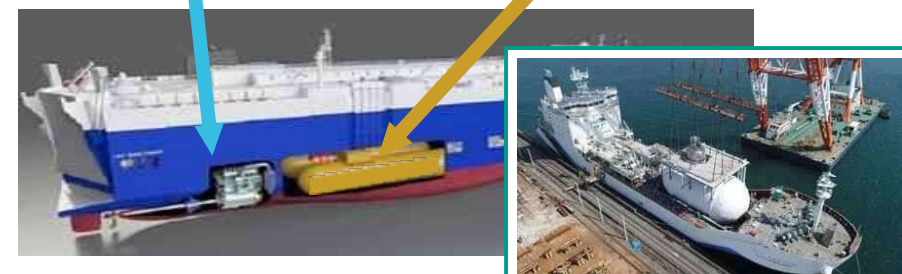
エンジン



燃料タンク



燃料供給システム等



艤装設備（クレーン）

造船事業者に対しゼロエミッション船等のエンジン、燃料タンク、燃料供給システム等の搭載に必要なクレーン等の艤装設備等の導入を支援

お問合せ先： 環境省 水・大気環境局 モビリティ環境対策課 脱炭素モビリティ事業室
環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 地球温暖化対策事業室

電話：0570-028-341

国土強靱化

顧客を守る！ ▶顧客の生活を支える		災害時に顧客へ必需品や必要なサービスを提供する		
034	水を浄化して再利用する水道いらずの可搬式シャワー	取組主体		
		WOTA 株式会社		
		従業員数	想定災害	実施地域
		20 人	地震等	東京都

- シャワーの排水をろ過して循環させる技術により、断水時でも多くの被災者がシャワーを利用することが可能。

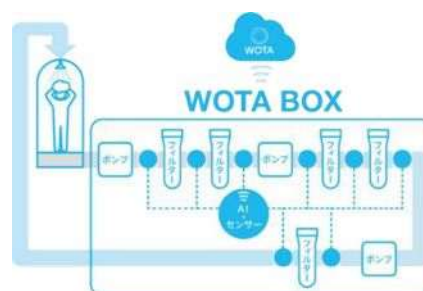
1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

避難所で生じる生活用水についての課題を最新技術で解決

- 水処理装置の製造・開発を行う WOTA 株式会社は、発災時に使用量が限られる水をより多くの人が使えるようにするためには、最先端技術を活用した水の再利用システムの確立が有効であると考えた。そこで、最先端のフィルター技術に、独自に開発した水質センサーと AI による解析を組み合わせ、効率的に一度使用した水を浄化し、公衆浴場水質基準を満たす安全な水をシャワーとして供給するシステム「WOTA BOX（ウォータボックス）＋屋外シャワーキット」を平成 31 年に開発した。
- 近年、国内では災害が多発し、多くの避難所が設立されている。しかし、避難者は主に次の 3 つの理由からシャワーを浴びることが難しく、避難者の健康・衛生面でのリスクやストレスが懸念されている。
 - ① 大量の水が必要：飲み水は 1 日 1 人あたり 3 リットルあれば十分であるのに対し、シャワーは 50 リットル程度必要となる。避難所に 100 人が避難していた場合、1 日で 5 t の水が必要となる。
 - ② 排水処理が必要：仮に水を用意できたとしても、シャワーを使用すると同量の汚れた排水が生じる。災害時は下水処理施設が機能しない場合が多く、これを処理することが困難となる。
 - ③ 既存入浴施設の収容力不足：銭湯等の入浴施設は散在しており、自衛隊等の仮設の入浴施設は数が少なく、開設期間や営業時間が短いなど、使用できない場合が多い。
- 同製品は、最先端のフィルター技術によって、シャンプーやボディソープを使った後の排水も 98%以上再利用することが可能であり、100 リットルの水で約 100 人がシャワーを浴びることができる。また、排水も通常の 50 分の 1 に抑えられるため、災害時をはじめ、使える水が少ない状況でも、多くの人数、回数のシャワーが可能となり、上記の 3 つの課題を解決することができる。
- 同製品では、組み込まれた AI が水質を常に監視しており、公衆浴場水質基準を満たす安全な水供給を実現している。また、AI により 4 種類のフィルターのうち最適なものを選択し、フィルターの交換を最小限に留める。
- 同製品一式の中には灯油式給湯器が含まれるため、シャワーに適した温度に調節することできる。また、仮設の脱衣テントとシャワーテントが用意されているため、利用者はプライバシーが確保された個室空間でシャワーを浴びることができる。
- 同製品は上下水道への接続が不要で、普通車で運搬でき、1 人で 15 分程度で設営可能なため、発災時でも迅速に準備することができる。



設営が簡単でプライバシーも保たれる



同製品の水循環システムには随所で AI が活用されている

避難所生活の改善に寄与

- 同社は、平成 26 年の創業以来、延べ 10,000 人以上の被災者にシャワーを浴びる機会を提供してきた。
- 平成 28 年の熊本地震、平成 30 年 7 月豪雨及び北海道胆振東部地震の際は、同製品の試作機を提供してシャワーの支援を行った。令和元年の台風 15 号では、断水が生じた千葉県富津市より要請を受け、同製品を 2 台納品してシャワーの提供を行った。
- 令和元年の台風 19 号では、下水処理施設が機能不全に陥った長野市より要請を受け、同製品を 14 台納品し、シャワーの提供を行った。同支援にあたっては、15 以上の企業・団体と連携し、1 か月以上にわたりシャワー介助支援を行った。連携を行った企業や団体は、各種製造業、メーカー等様々で、シャワーを浴びる際に補助が必要な方に向けた補助用具・サポート人員の派遣や、シャワーの際に必要なシャンプーや石鹸等のスキンケア用品、着替えの下着や洗剤等、様々な物資の提供、配布を連携して実現した。



令和元年の台風 19 号の被災地でも多くの人が利用

2 取組の平時における利活用の状況や効果

- 同社は、災害時だけでなく平時においても定期的に同製品を使用することで、いざという時によりスムーズに活用することが可能になるとともに、災害時の水の備えがあることを周知することにつながると考えている。
- 同製品は、水道がない場所すべてで効果を発揮する。例えば、令和元年に江の島で行われたセーリングのワールドカップでは、選手や関係者が水道設備のない海岸でシャワーを浴びるために使用された。令和元年には鎌倉市と連携し、持続可能な海水浴場運営を目指して材木座海水浴場に同製品を設置した。



海水浴場での排水量を低減させる

3 現状の課題・今後の展開等

- 同製品は、発売されたばかりであり、大規模災害時に必要とされる台数には到底足りていない状況である。令和元年の台風 19 号発生時には、需要に対し供給が追いつかない状況であった。今後は生産台数を増やし、日本全国各地で災害が起きてもシャワー及びその他の生活用水に困らないよう配備を進める方針である。

4 周囲の声

- 私は足が悪く、遠くの入浴支援場所までなかなか行くことができなかった。避難所の近くでシャワーを浴びられるのはとてもありがたい。（被災地での利用者）
- 公衆浴場の解放もあったが、混雑していて気が休まらなかった。久しぶりに一人でシャワーを浴びることができて、リラックスすることができた。（被災地での利用者）

担当者の声

- 私たちは、災害時に最も解決困難とされる「生活水の確保」の課題を根本的に解決したいと考えています。生活水の確保により、職場等における災害後の帰宅抑制時にも、安心できる長期滞在を可能にします。また、避難所では、感染症防止のための衛生環境や避難者の人間らしいクオリティ・オブ・ライフ（生活の質）維持に役立ちます。
- WOTA BOX の普及を通じて、災害時、誰も水に困らない状況の実現を目指しています。

問合せ先

WOTA 株式会社 法人番号：2010001163792 E-Mail：info@wota.co.jp

サイト URL



令和7年9月定例会
加藤博男議員総括質問資料④

無断転載禁止



令和7年8月 加藤博男 撮影